

和泉市史紀要第27集 近世和泉の村と支配 目次

凡例

はじめに

刊行にあたって

凡例

I 論考編

「二七世紀から一八世紀の和泉の所領配置」 熊谷 光子 5
 「元禄四年の寺社改と村の寺」 羽田 真也 28

「和泉国伯太藩の家中形成と大坂定番

―「家老」家々の来歴から― 齊藤 紘子 52

「近世和気村の村落構造―座と村政の両面から」 安浪 皓星 74

「近世中後期今在家村の村落構造」 高濱はるな 135

II 史料編

図表

史料翻刻 元禄一七年信太暦

『信太暦』の発行停止と信太陰陽師藤村氏

―信太暦に関する史料紹介― 細田 慈人 220

史料所蔵者・所蔵機関 執筆者 調査協力者 一覧

・ 本紀要は、和泉市の歴史7 テーマ叙述編・近世に向けた研究・

調査報告書である。I部論考編には研究論文、II部史料編には図表、

史料翻刻とその解説を収載した。

・ 原則として、固有名詞、専門用語を除き、概ね常用漢字を用いた。

・ 史料は適宜改行し、句読点を補った。

・ 〆(より)、ノ(して) 江(え)、茂(も)、与(と)、者(は)は原則として表記のまま示した。

・ 破損・虫損、あるいは判読困難な箇所は□□で表記した。

・ 誤字・脱字は傍注で(ママ)とつけるか、適切と思われる字を()

で付した。

・ 訂正が加わっている場合は、抹消線で示した

・ 注記が必要な箇所は、原則として初出にのみ傍注を付した。

・ 本誌の記述において、近世の身分制に基づく名称・呼称がみえるが、

当該社会を科学的に研究し、理解を深めるために、そのまま掲載し

た。この趣旨をご理解いただき、利用にあたっては適切な配慮をお

願いしたい。